

東京外環自動車道
三郷管理事務所管内塗膜成分調査

特記仕様書

令和6年7月

東日本高速道路 株式会社
関東支社 三郷管理事務所

目 次

	頁
第 1 章 総則	
1－1 適用	1
1－2 調査等概要	1
1－3 適用する共通仕様書	1
1－4 資料の貸与	1
1－5 受注者相互の協力	1
1－6 発注者または監督員が行う協議	3
1－7 計画工程表	3
1－8 打合簿の作成及び提出について	4
1－9 履行期間	4
1－10 テクリスへの登録	4
第 2 章 業務細部に関する事項	
2－1 業務の内容	5
2－2 適用すべき諸基準等	5
2－3 調査業務	5
2－4 成果品	10
2－5 補足事項	10
添付資料	
別添－1 履行期間通知書	

第1章 総則

1-1 適用

本特記仕様書は、東日本高速道路株式会社関東支社が実施する「東京外環自動車道 三郷管理事務所管内塗膜成分調査」（以下「本業務」という。）に適用するものとする。

1-2 調査等概要

1-2-1 調査等業務名 東京外環自動車道 三郷管理事務所管内塗膜成分調査

1-2-2 道路名 東京外環自動車道

1-2-3 履行箇所 (自) 埼玉県和光市新倉 (KP 5.0)
(至) 埼玉県三郷市番匠免 (KP 28.2)

1-2-4 主な履行内容

本業務は、京浜管理事務所管内の橋梁の既存塗膜の採取を行い、成分分析を実施するものである。

内訳書の項目	数 量	備 考
現地踏査	1 式	
塗膜採取	151 箇所	
塗膜成分分析	151 検体	
業務打合せ	1 式	

1-3 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）は、令和5年7月版とする。

1-4 資料の貸与

共通仕様書1-15「資料の貸与及び返却」に基づく貸与資料は、下表のとおりである。なお、貸与予定日までに成果品を貸与できない場合は、別途監督員と協議するものとする。

貸与資料	調査等業務名	貸与予定日	備 考
平面図	—	契約締結後貸与	紙及び電子データ (Tiffデータ)
橋梁一般図	—	契約締結後貸与	紙及び電子データ (Tiffデータ)

1-5 受注者相互の協力

共通仕様書1-20「受注者相互の協力」に示す、隣接又は関連の業務については、下表のとおりである。なお、履行期間中に当該調査等業務と下表の業務が同時期に施工される場合には、関係者と相互に協力しなければならない。

隣接又は関連の業務	履行期間	受注者	発注機関
道路保全工事業務	通年	(株)ネスコ・メンテナンス関東	当社
道路保全点検業務	通年	(株)ネスコ東日本エンジニアリング	当社
施設保全工事業務	通年	(株)ネスコ東日本エンジニアリング	当社
施設保全点検業務	通年	(株)ネスコ東日本エンジニアリング	当社
東京外環自動車道 鋼床版疲労き裂調査	通年	(株)ネスコ東日本エンジニアリング	当社
東京外環自動車道 八潮橋常設足場設置工事	令和5年1月25日～ 令和7年3月14日	ショーボンド建設（株）	当社

隣接又は関連の業務	履行期間	受注者	発注機関
東京外環自動車道 幸魂橋耐震補強工事	令和5年2月21日～ 令和10年1月25日	五洋建設・青木あすなろ建 設東京外環自動車道幸魂橋 耐震補強工事特定JV	当社
東京外環自動車道 芝川橋鋼床版補修工事	令和5年8月23日～ 令和6年10月15日	横河ブリッジ（株）	当社
東京外環自動車道 美女ジャンクションラン プ橋耐震補強工事	令和5年10月17日～ 令和9年10月25日	ショーボンド建設（株）	当社
東京外環自動車道 草加地区遮音壁取替工事	令和6年3月14日～ 令和7年1月2日	JFE建材工事（株）	当社
東京外環自動車道 美女木高架橋はく落対策 工事	令和3年11月18日～ 令和7年3月1日	武ダ技建創（株）	当社
東京外環自動車道 中根地区はく落対策工事	令和6年6月～ 令和9年6月	未定	当社
東京外環自動車道 荒川第四橋検査路改良工 事	令和6年6月～ 令和8年6月	未定	当社
東京外環自動車道 和光地区交通安全施設設 置工事	令和6年6月～ 令和7年3月	未定	当社
東京外環自動車道 浦和地区段差防止構造設 計	令和6年7月～ 令和7年5月	未定	当社
東京外環自動車道 草加地区段差防止構造設 計	令和6年7月～ 令和7年5月	未定	当社
東京外環自動車道 草加地区耐震補強設計	未定	未定	当社
東京外環自動車道 三郷地区耐震補強設計	未定	未定	当社
東京外環自動車道 川口地区耐震補強設計	未定	未定	当社
東京外環自動車道 川口JCTランプ橋耐震補強 設計	未定	未定	当社
東京外環自動車道 和光地区耐震補強設計	未定	未定	当社
国道298号上工事	通年	未定	国土交通省等

1-6 発注者または監督員が行う協議

発注者または監督員が行う協議で本調査業務に関連する主な施設及び管理者、必要な協議の有無並びに協議の完了予定時期は、下表のとおりとする。

なお、本項目に記載する協議は、受注者が共通仕様書 1-1-6 「関係官公署及び関係会社への手続き」に従って行う協議以外である。また、本業務の検討内容に応じて必要な協議の有無及び完了予定時期を変更する場合がある。

(1) 道路

位置	路線名	管理者名	必要な協議	協議完了予定時期等	備考
全調査区間	国道	国土交通省	調査時の近接 施工協議	施工計画策定後	

(2) 電力、通信施設関係

位置	路線名	管理者名	必要な協議
全調査区間	光通信ケーブル	KDDI株式会社 東日本電信電話株式会社	施工時制約範囲確認 移設等検討協議
	メタル通信・ 電源ケーブル	東日本電信電話株式会社	施工時制約範囲確認 移設等検討協議

(3) 交通管理者

位置	路線名	管理者名	必要な協議
全調査区間	一般国道 298 号	埼玉県蕨警察署・埼玉県浦和警察署 埼玉県川口警察署・埼玉県武南警察署 埼玉県草加警察署・埼玉県吉川警察署	—

1-7 計画工程表

1-7-1 計画工程表の記載事項

受注者は、共通仕様書 1-1-4-1 「作業計画書の提出」に示す作業計画書の計画工程表の作成にあたっては、下表の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。

受注者は、完了時期の明示にあたって発注者または監督員が行う協議や共通仕様書 1-2-2 「打合せ」に規定する打合せの実施時期についても十分検討し、計画工程表に記載するものとする。

種別	工種	作業単位	備考
現地踏査	—	—	—
塗膜採取	—	—	—
塗膜成分分析	—	—	—
業務打合せ	—	—	—

1-7-2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は、共通仕様書 1-2-2 「打合せ」の実施時に、計画工程表に作業の実施状況を記載し、監督員に報告するとともに、調査等打合簿（共通仕様書様式第 1-4 号）に添付するものとする。

なお、受注者は、前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書 1-2-9-1 「契約変更」に準じた協議のうえ、必要に応じ共通仕様書 1-1-4-3 「変更作業計画書」に基づき変更作業計画書を監督員に提出するものとする。

1－8 打合簿の作成及び提出について

受注者は、共通仕様書 1－2 2「打合せ」にあたっては、打合せ前に打合せ項目を整理すると共に、打合せ終了後、速やかに調査等打合簿（共通仕様書様式第 1－4 号）を作成し、監督員に記載事項についての確認を得るものとする。

また、清書・押印した調査等打合簿は、打合せ後 7 日以内に監督員に電子メールにより提出するものとする。監督員は、提出のあった調査等打合簿を受領後 7 日以内に受注者に電子メールで返送のうえ、保管するものとする。

1－9 履行期間

本業務は、共通仕様書 1-13「着手日」の規定によらず、受注者の円滑な業務執行体制の確保を図るため、事前に技術者確保等の準備を行うことができる全体履行期間及び余裕期間を設定した業務であり、発注者が示した全体履行期間内（業務完了期限までの間）で、受注者が業務の始期（業務着手日）及び終期（業務完了日）を任意に設定することができる。なお、契約上の履行期間は、契約保証取得の日の翌日から受注者が設定した業務の終期までの期間とする。

余裕期間内は、管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者を設置することを要しない。また、業務着手以外の業務のための準備を行うことができるが、現地踏査や打合せを行ってはならない。なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

受注者は、落札者決定から 10 日以内に、履行期間通知書（別添－1）により、業務の始期及び終期を発注者へ通知しなければならない。

全体履行期間（業務完了期限）：契約保証取得の日の翌日から 480 日間（まで）
余裕期間（業務着手期限）：契約保証取得の日の翌日から 120 日間（まで）

1－10 テクリスへの登録

本業務は、「調査等における余裕期間制度」を適用しており、共通仕様書 1-12-4「テクリスへの登録」の規定によらず、以下のとおりとする。

- （1）受注時は、受注者が設定した業務の始期から 15 日以内

第2章 業務細部に関する事項

2-1 業務の内容

本業務は、本特記仕様書2-3-2(1)に示す塗膜成分調査対象箇所について、三郷管理事務所管内の橋梁の既存塗膜の採取を行い、成分分析を実施するものである。

2-2 適用すべき諸基準等

本業務で使用する技術基準は、共通仕様書4-2-1「適用すべき諸基準」に下表を追加する。

名称	出典	発行年月	備考
構造物施工管理要領	東日本高速道路株式会社	令和6年4月	—

2-3 調査業務

2-3-1 現地踏査

現地踏査とは、当該調査に必要な現地の状況を把握し、塗膜成分調査の着手前に塗膜採取の方法及び安全対策、使用する主要な機器、人員、日程等が記載された作業計画を立案するための調査をいう。

現地踏査の結果、現地状況が貸与する既存の資料等と相違している場合等は、速やかに監督員に報告するものとする。

2-3-2 塗膜成分調査

(1) 塗膜成分調査対象箇所

本業務の対象箇所は、下表のとおりとする。

IC間	橋梁名	採取箇所	備考
和光IC～和光北IC	和光高架橋	鋼箱桁 和光10(P8)～和光13(P11)	
和光北IC～和光北IC	和光北IC Cランプ橋	鋼箱桁 P6L～和光18L	
戸田西IC～美女木JCT	美女木高架橋	鋼製脚 戸田12(P6)、戸田31(P25)、戸田32(P26)、戸田33(P27)、戸田34(P28) 鋼板桁 戸田11(P5)～戸田13(P7)、戸田13(P7)～戸田17(P11)、戸田33(P27)～戸田35(P29)	
戸田東IC～外環浦和IC	東北新幹線橋	鋼製脚 戸田63(P29) 鋼箱桁 戸田62(P28)～浦和1(P30)	
戸田東IC～外環浦和IC	中山道橋	鋼製脚 浦和20(P49)、浦和21(P50)、浦和22(P51)、浦和26(P55)、浦和27(P56)	

IC間	橋梁名	採取箇所	備考
戸田東IC～外環浦和IC	中山道橋	鋼箱桁 浦和25 (P54) ～浦和28 (P57)	
	浦和東高架橋	鋼製脚 浦和31 (P1)	
外環浦和IC～外環浦和IC	外環浦和IC Cランプ橋	鋼鈑桁 浦和51L (P6) ～川口3L、川口4L (P10) ～川口6	
外環浦和IC～川口西IC	芝東高架橋	鋼製脚 川口31 (P26) 、川口40 (P35) 鋼箱桁 川口37 (P32) ～川口40 (P35)	
	伊刈高架橋	鋼製脚 川口45 (P40) 鋼箱桁 川口49 (P44) ～川口51 (P46)	
川口西IC～川口中央IC	藤右衛門高架橋	鋼製脚 川口74 (P69) 、川口75 (P70)	
	芝川橋	鋼箱桁 川口80 (P74) ～川口83 (P77)	
	道合西高架橋	鋼製脚 川口90 (P84) 、川口91 (P85) 、川口92 (P86) 川口93 (P87) 鋼箱桁 川口90 (P84) ～川口93 (P87)	
	道合東高架橋	鋼箱桁 川口100 (P95) ～川口105 (P100)	
川口中央IC～川口JCT	川口西高架橋	鋼製脚 川口133 (P3) 鋼箱桁 川口133 (P3) ～川口136 (P6)	
	川口JCT橋	鋼製脚 川口142 (P12) 鋼鈑桁 川口140 (P10) ～川口143 (P13)	
川口JCT～川口JCT	川口JCT Aランプ橋	鋼箱桁 川口147 (P17) ～AP2	
	川口JCT Cランプ橋	鋼箱桁 川口136 (P6) ～CP2 鋼鈑桁 TP21L～TP25L	

IC間	橋梁名	採取箇所	備考
川口JCT～川口JCT	川口JCT Fランプ橋	鋼鈑桁 川口152L (FP22) ～川口153L	
	川口JCT Gランプ橋	鋼製脚 CP6 鋼箱桁 CP6～TP16R	
	川口JCT Hランプ橋	鋼製脚 AP5 鋼鈑桁 DP1～TP15R	
川口JCT～川口東IC	川口東高架橋	鋼製脚 川口145 (P15) 、川口149 (P19) 鋼鈑桁 川口143 (P13) ～川口147 (P174) 、川口147 (P17) ～川口149 (P19)	
川口東～草加	浦和東京線橋	鋼製脚 川口210 (P51) 、川口214 (P55) 、川口215 (P56)	
	新善高架橋	鋼鈑桁 草加9 (P79) ～草加12 (P82) 、草加21 (P91) ～草加24 (P94)	
	草加BP高架橋	鋼製脚 草加31 (P101) 、草加34 (P104) 、草加35 (P105) 、草加36 (P106) 鋼鈑桁 草加33 (P103) ～草加36 (P106)	
草加IC～外環三郷西IC	草加高架橋	鋼鈑桁 草加39 (P109) ～草加42 (P112) 、草加56 (P126) ～草加58 (P128)	
	中根高架橋	鋼鈑桁 草加76 (P144-3) ～草加80 (P148) 、草加80 (P148) ～草加83 (P151) 、草加83 (P151) ～草加87 (P155) 、草加87 (P155) ～草加90 (P158) 、草加90 (P158) ～草加93 (P161)	
	青柳高架橋	鋼製脚 草加122 (P190) 、草加125 (P193) 、草加126 (P194) 、草加127 (P195) 、草加134 (P202) 、草加135 (P203) 、草加137 (P205) 、草加138 (P206) 、草加139 (P207)	

IC間	橋梁名	採取箇所	備考
草加IC～外環三郷西IC	青柳高架橋	鋼箱桁 草加126 (P194) ～草加129 (P197) 、草加33 (P201) ～草加135 (P203) 鋼鈑桁 草加129 (P197) ～草加133 (P201) 、草加135 (P203) ～草加137 (P205) 、草加137 (P205) ～草加139 (P207) 、草加139 (P207) ～草加142 (P210)	
	八潮西高架橋	鋼箱桁 八潮3 (P213) ～八潮6 (P216) 、八潮6 (P216) ～八潮9 (P219) 、	
	八潮橋	鋼箱桁 八潮12 (P222) ～八潮15 (P225) 、八潮15 (P225) ～八潮18 (P228)	
	中川橋	鋼箱桁 八潮26 (P236) ～三郷2 (P240)	
	三郷西高架橋	鋼鈑桁 三郷2 (P240) ～三郷6 (P244) 、三郷32 (P271) ～三郷38 (P277)	

2-3-3 塗膜採取

(1) 塗膜採取箇所

塗装状態（塗装の剥がれ等の状況）から塗装の劣化等が比較的少なく、かつ直射日光や水掛かりの影響の受けにくい場所を選定し、その際、現況の塗膜厚が周辺よりも薄くなっている部位からの選定を避けて試料を採取するものとする。採取箇所は下表のとおりとし、各橋梁の施工年度、塗料種別毎に採取する。

鋼製橋脚及び鋼箱桁		鋼鈑桁
外面	内面	
1箇所	1箇所	1箇所

(2) 塗膜採取方法及び採取量

塗膜の採取にあたり、環境省通達及び関係法令の規定に従わなければならない。塗膜の採取は原則、検査路及び橋台・橋脚上等から行うものとし、塗膜採取及び防錆処理等を行う際には塗膜が周囲に飛散しないように養生を行い、作業することとする。

ただし、現地踏査の結果から塗膜採取の際に橋梁点検車や仮設足場、交通規制等（交通誘導員含む）が必要となる場合は、これらに要する費用について監督員と受注者で協議して定めるものとする。また、橋梁点検車や仮設足場等を使用する作業が発生する場合は、東日本高速道路(株)、KDDI(株)「光通信ケーブル等損傷事故防止マニュアル「関東支社版」（令和5年7月）」に基づき、光通信ケーブル等管路の損傷事故防止対策を講じなければならない。これらは監督員の指示に従うものとし、光通信ケーブル等管路の防護に要する費用は、別途監督員と協議するものとする。

サンプル数については、採取箇所ごとに1箇所以上とする。採取量は、上塗から下塗までのすべての塗膜について適切に分析できる量（50g～150g 程度を想定）とし、グラインダーやディスクサンダー、スクレーパー、ヘラ、ケレン棒等の工具を用いる乾式方法にて適切に採取する。塗膜採取の際には、安全衛生保護具等を着用し、作業員の安全を確保しなければならない。

また、塗膜採取後については、採取した塗膜片が飛散しないように適切に保管・管理するとともに、採取に用いた用具を廃棄する際には十分に注意し、剥離した塗膜が周囲に飛散しないよう対策することとする。

試料採取にあたり、養生や清掃、補修作業、移動、安全対策に係る費用を含むものとする。

（3）塗膜採取後の防錆処理等

塗膜の採取後は、ジンクスプレー等を用いて採取面の防錆処理を施さなければならない。

2-3-4 塗膜成分分析

塗膜成分分析とは、低濃度PCB廃棄物への該当性を判断するとともに、労働安全衛生法に基づく作業時の安全性判定のために実施するものである。

本業務にて、成分分析を行う有害物質、分析試験方法等については下表のとおりである。

含有量試験結果の判定は、「構造物施工管理要領Ⅲ 保全編 2 鋼構造物 2-1 塗替え塗装 2-1-3 塗装作業(1)塗膜除去の準備(1)旧塗膜の塗歴調査」によるものとする。なお、PCBについては前述に加えて、「低濃度PCB含有廃棄物に関する測定方法（第5版）（令和2年10月、環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課、ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理推進室）」に基づき、低濃度PCB廃棄物の該当性について判断するものとする。

項目	試料採取方法	採取量	溶液作成及び分析試験方法	判定基準
PCB	乾式	50g～ 150g 程度	【試料溶液作成】 「低濃度PCB含有廃棄物に関する測定方法（第5版）第2章8.塗膜くず」による 【分析試験方法】 特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物の基準の検定方法（平成4年厚生省告示第192号別表第二）ガスクロマトグラフ/高分解能質量分析計(GC/HRMS法)	重量 0.5mg/kg
鉛及びその無機化合物			JIS K 5674：鉛・クロムフリーさび止めペイント 付属書A-塗膜中の鉛の定量	重量 0.1%以上
クロム酸及びクロム塩類			JIS K 5674：鉛・クロムフリーさび止めペイント 付属書B-塗膜中のクロムの定量	重量 0.1%以上
コaltar			コaltar成分(ベンゾ(a)ピレン濃度)からの換算法	重量 0.1%以上
アスベスト			定性分析（JIS A1481-1もしくはJIS A1481-2）	重量 0.1%以上

2-3-5 業務打合せ

本業務における打合せは原則、三郷管理事務所で行うものとし、回数は業務内容確認検査を含めて全3回とする。Web会議等による打合せの実施も可とするが、その費用については別途、監督員と受注者で協議し定めるものとする。打合せの検測数量は1式とし、履行状況により打合せ回数が増減しても打合せ費用の変更は行わないものとする。ただし、業務内容の変更に伴い打合せ回数が増減が生じる場合は、その費用について別途監督員と受注者で協議し定めるものとする。

2-3-6 交通費・日当・宿泊費

交通費・日当・宿泊費は、現地踏査及び業務打合せに必要な交通費を含むものとし、設計項目及び数量が増減しても交通費・日当・宿泊費の変更は行わないものとする。ただし、業務内容の変更及びWeb会議等の実施に伴い、交通費等に増減が生じる場合は、その費用について別途監督員と受注者で協議し定めるものとする。

2-4 成果品

成果品は、設計図書及び監督員の指示に従って作成し、提出しなければならない。

- | | |
|----------------|-----|
| (1) 報告書（紙） | 1 部 |
| (2) 報告書（電子データ） | 1 部 |
| (3) 成分分析結果報告書 | 1 式 |
| (4) 塗膜採取状況写真集 | 1 部 |

2-5 補足事項

次に示す事項については、関連する事項の業務内容を変更または追加する場合があるため、受注者は監督員と緊密な連絡を取るとともに監督員より変更等指示があった場合は、これらの実施及び費用について、監督員と受注者で別途協議し定めるものとする。

- (1) 現地踏査の結果より、参考図に記載されている塗膜採取箇所を変更する場合がある。
- (2) 現地踏査の結果より、塗膜採取に必要な橋梁点検車や仮設足場、交通規制等を追加する場合がある。

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 支社（事務所）
支社長（所長） 殿

住所
会社名
代表者

履行期間通知書

（調査等名）

標記について、発注者が示した全体履行期間内において業務の始期と終期を設定しましたので、通知します。

記

1. 契約保証取得の日

令和 年 月 日

2－1. 発注者が設定した全体履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 （ 日間）

（1. 契約保証取得の日の翌日）

2－2. 発注者が設定した余裕期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 （ 日間）

（1. 契約保証取得の日の翌日）

3－1. 受注者が設定した業務の始期

令和 年 月 日

3－2. 受注者が設定した業務の終期

令和 年 月 日

3－3. 契約上の履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 （ 日間）

（1. 契約保証取得の日の翌日）

（3－2. 受注者が設定した業務の終期）

以 上